

シラバス

○「総合文化研究Ⅱ」

(薬学科:2年後期に開講、1単位、必修科目です。)

生命薬科学科:2年後期に開講、1単位、選択科目です。)

1. 授業の一般目標(GIO)

日本文化は古来、日本的な要素と東アジア的な要素(仏教文化と儒教文化)の並存を維持し、さらに明治期以後、近代西洋的な要素を積極的に受容してきました。いわば、日本文化は「東西文化の結合点」といえます。そこで、日本の文化形成の流れを考察することにより、日本文化の固有性と融合性を認識し、異文化理解を深めつつ、持続可能な社会の担い手としての素養の醸成を目指します。併せて、文化の発展を共有してきた本学の歴史を学びます(自校史学習)。

2. 授業の到達目標(SBO)

1. 近現代の日本文化の特色を説明できる。
2. 近現代の西洋文化の特色を説明できる。
3. 文化の盛衰と市民のかかわりを説明できる。

回数	項目	講義内容
1	序説 ・『東北薬学専門学校戦没者追悼誌』をめぐって(自校史学習1) ・「ユネスコ宣言—多文化主義世界」をめぐって	自校史学習と平和教育を目指します。本学戦没者追悼誌をもとに、戦時下における学生生活の共有を通じて、「平和の尊さ」と「若さの素晴らしさ」について学びます。また、ユネスコ運動の一端を知ることによって、現代世界が抱える問題を認識し、平和な社会構築に向けた心構えについて検討します。
2	西洋の文化思想 ＜近代以前＞ ・古代ギリシャ思想 ・ヒポクラテスの医箴 (ヒポクラテス、プラトン、アリストテレス)	アリストテレスのプシス論や古代ギリシャの世界観について概説的に学びます。また、医療の父ヒポクラテスの医箴とその精神の現代的継承(ジュネーブ宣言、ナイチンゲール宣詞)について考察します。 * 「ars longa, vita brevis(芸術は長く、人生は短い?)」(ヒポクラテス)の本来の意味は何でしょうか。
3	西洋の文化思想 ＜近代(1)＞ 近代的思考の萌芽 (ガリレオ、デカルト)	科学革命の世紀(16・17世紀)がもたらした思想的意義について考えます。 * 「cogito ergo sum(我思う、故に我有り)」(デカルト)が意味するところは？

4	西洋の文化思想 ＜近代(2)＞ 啓蒙思想と＜子供の発見＞ (ルソー)	啓蒙の世紀(18 世紀)の先駆的思想家ルソーの啓蒙精神と教育論について学びます。 *ルソーは「自然に帰れ！」と説いたのでしょうか。 *子供は生活に追われていた？
5	西洋の文化思想 ＜近代(3)＞ 啓蒙の精神とリゴリズム (カント)	カントの歴史哲学思想と啓蒙思想について学びます。 *「汝の意志の格率が常に同時に普遍的立法の原理として通用しうるように行動せよ！」(カント)とはどういう意味でしょうか。
6	西洋の文化思想 ＜近代(4)＞ 人間形成論と遊戯の思想 (シラー)	太宰治「走れ メロス！」の原作者、ベートーベンの第 9 交響曲「歓喜に寄せて」の作詞者であるシラーの啓蒙思想と遊戯の思想について学びます。 *「もはやアルカディアに戻れない人間をエリュシオンへ導く牧歌」(シラー)の創作とは？
7	西洋の文化思想 ＜近代(5)＞ 「生への意思」と超人思想 (ニーチェ)	生への意志、永遠回帰、超人思想について学びます。ニーチェのアフォリズムとは？ *「万物は行き、万物は帰ってくる。存在の輪は、永遠に回る。」(ニーチェ)
8	東洋(日本)の文化思想(1) 「冥想の松」略史 (高山樗牛)＜自校史学習2＞	高山樗牛と本学のかかわりについて考察します。我が国にニーチェを紹介した高山樗牛の思想(感傷主義、日本主義、個人主義＝超人主義思想)について学びます。 *「幾たびか ここに真昼の夢みたる 高山樗牛冥想の松」(土井晩翠)
9	東洋(日本)の文化思想(2) 「日本文化の問題」をめぐって (西田幾多郎)	西洋文化と東洋文化の結合点としての日本文化が抱える文化的使命について学びます。 *「東洋と西洋とが一つになった今日、東洋文化が如何なる意味に於いて世界文化として、将来の世界歴史に貢献するか・・・」(西田幾多郎)

10	東洋(日本)の文化思想(3) 南方曼荼羅とタブーシステム (南方熊楠)	<知の巨人>といわれる熊楠の多面的な活動について考察します。 *「梟のごとく黙坐しおる。」(熊楠)
11	現代日本文化考(1) 否定的日本観 (R.ベネディクト、丸山眞男)	罪の文化と恥の文化とは(ベネディクト)、輔弼体制批判、翻訳文化とは(丸山眞男) *「様々な文化の人類学的研究において、恥に重きをおくものと罪に重きをおくものとのあいだの区別は重要である。」(ベネディクト)
12	現代日本文化考(2) 相対的・肯定的日本観 (加藤周一、中根千枝、土居健郎、E.ヴォーゲル)	雑種文化論(加藤周一)、タテ社会論(中根千枝)、甘えの構造論(青木保)等について学びます。 *「日本の文化は雑種であり、それはそれとして結構である。」(加藤周一)
13	現代日本文化考(3) 普遍的日本観 (S.ハンチントン、R.ヴァイツゼッカー)	ハンチントンの文明の衝突論、ヴァイツゼッカーの世界平和論について考察します。 *「私たちは<文明の衝突>を欲するのではなく、<文明の対話>を欲します。」(ヴァイツゼッカー)
14	まとめ	既習事項の重点復習
15	試験	